

# 2016年度活動報告書 赤松正行 役職：教授

## 学内での活動

### 1 入試委員会（委員長）

現在の入学試験を調整し、新課程創設を含めた将来の入学制度について検討した。

### 2 学生委員会

学生の研究・生活を調整し、キャリア・セミナーやアンケートなどを実施した。

### 3 研究委員会

学内における研究活動を調整し、プロジェクト研究などのサポートを行った。

### 4 授業

四方幸子氏、前林明次氏とともに芸術特論Cを担当し、全教員による議論では今日のメディアと芸術をめぐる動向と諸問題を検討した。個人の講義ではARやVRを含むリアリティの問題、生活に浸透するモビリティの意義、そして自律分散型の社会の在り方などを紹介し、簡単なワークショップの実施とともに理解を促した。

### 5 個人研究

個人ゼミを主催し、有志学生とともにメディア・アート関連の議論と制作を行い、参加学生の修士研究や年次制作などの指導もゼミとして行った。また、IAMASの教員、職員、学生、卒業生、外部関係者とともにクリティカル・サイクリングと名付ける研究活動を行った。その成果は「Bike in the Shell」「The Ridable City」「Starry Ride」といった作品、国内数ヶ所および海外2ヶ所での研究調査、WEBサイト [criticalcycling.com](http://criticalcycling.com)、そしてIAMAS研究紀要の特集として発表した。

## 学外での活動

展覧会、演奏会、アプリなどを通じて、作品の構想から制作、発表、記録などの一連の作業を行った。これらの作品はモバイル・デバイスやウェアラブル・デバイス、そしてAR（拡張現実・変容現実）やVR（仮想現実）を基盤技術とする表現であり、自転車など伝統的なフォーマットを超える新しい可能性も探求した。

## 発表歴（時系列逆順）

- 2017.03.31 執筆監修「特集クリティカル・サイクリング」, 研究紀要, IAMAS, 大垣
- 2017.03.20 – 04.09 展覧会「動き出す美術館～ARアートミュージアム」, アルヴェ, 秋田
- 2017.03.12 講演「クリティカル・サイクリング」, 日本デジタルゲーム学会, 星城大学, 東海
- 2017.02.23 – 02.26 展覧会「Critical Cycling 2017 Winter」, IAMAS, 大垣
- 2016.10.01 – 01.11 オレゴン州自転車事情調査, ポートランド他, USA
- 2016.07.30 – 07.31 展覧会「Critical Cycling 2016」, IAMAS, 大垣
- 2016.07.23 講演「INSIDE雰囲気メガネ」, MOSA, 清泉女子大学, 東京
- 2016.06.23 – 06.30 イギリス自転車事情調査, ロンドン他, UK
- 2016.06.09 アプリ「Beacon Free 2.2」, App Store, Worldwide
- 2016.06.07 アプリ「Compass Free 2.0」, App Store, Worldwide
- 2016.06.03 アプリ「計算尺 2.0」, App Store, Worldwide
- 2016.05.27 アプリ「Alarm Free 2.0」, App Store, Worldwide
- 2016.05.27 アプリ「Yes|No Free 2.2」, App Store, Worldwide
- 2016.05.25 アプリ「Banner 3.0」, App Store, Worldwide
- 2016.04.28 アプリ「Timetracks 2.0」, App Store, Worldwide